

○事業所名	GreenApple三鷹		
○保護者評価実施期間	2026年 4月 10日		2026年 4月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2026年 4月 10日		2026年 4月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 5月 7日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者へ児童の活動参加の様子を詳細に伝えることで、健康や発達の状況について共通理解ができています。	連絡帳や送迎時、電話連絡や面談にて、常に新しい情報の共有ができるよう取り組んでいる。	日頃の支援において、常に職員間で最新の情報を把握し、支援に反映することができるよう取り組んでいく。
2	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証や改善につなげている。	法人独自の支援プログラムを評価指標として運用し、支援に反映し実践している。	ミーティング等にて情報共有を徹底し、支援に迅速に反映できることを意識して取り組んでいく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が限定的である。	定期的に近隣の児童館にて課外活動を実施しているが、計画的交流には至っていない。	限定的な交流だけではなく、地域に根付いた支援活動が円滑にできるよう関係機関との情報交流の場を設けて取り組んでいく。
2			

事業所名 GreenApple三鷹

公表日 2026年 5月 25日

利用児童数 36

回収数 23

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	5	2	3	人数によっては少し狭いと感じることもある。	活動に集中しやすいよう間仕切り等を使って有効利用しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	21	0	0	2		人員配置基準に準じた職員配置を行っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	1	0	2		玄関先スロープの設置、滑り止めマットの設置、トイレ内スロープの設置を行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	1	0	2		動線を意識した物の配置や空間づくり、日々の消毒・換気を実施しています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	0	0	0	いつも色々とみて声かけしていただき、ありがとうございます。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	0	0	0		面談やアセスメントをもとに、一人ひとりの状況や課題に応じた計画作成を行っています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	0	0	0		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	3	3	6	いつも合同活動を楽しみにしているようです。	活動で児童館を利用することは多々ありますが、意図的に交流の機会は設けていません。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	5	2	7		研修会等は行っていませんが、保護者様からのご相談へは、ペアレントトレーニングに基づいた助言等を行っています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	23	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	0	0	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	7	0	6	保護者会に参加してみたいと思いますが、毎年日程が合わず、参加できていません。	保護者同士の交流の場となるような保護者会の場を設けていきたいと思っています。きょうだいの参加ができる行事開催も、今後検討していきたいと思っています。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	0	0	3		迅速目つきめ細やかな対応に努めています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22	0	0	1		毎月、事業所通信を作成するとともに、ホームページやSNSで定期的に情報発信をしている。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	0	0	3		事業所内にて常時閲覧いただけるになっています。また、ホームページへ掲載もしております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	0	0	3		毎年5月・11月に避難訓練、6月・12月に救急対応訓練を実施している。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	0	0	0		契約面談時の説明と、事業所内にて常時閲覧いただけるになっています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	0	0	2	怪我は無いが、様々な場面で丁寧な連絡を頂いています。	該当事案が発生した際には、迅速かつ丁寧な説明を心がけています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23	0	0	0	先生方やお友達との交流をいつも楽しみに参加しています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23	0	0	0	いつもありがとうございます。発達の相談に適切に答えて下さり、とても心強いです。子供も楽しそうに通っていて、その姿をみるのが嬉しいです。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	0	0	0	いつも色々なサポートをいただき感謝しております。ありがとうございます。	

事業所名	GreenApple三鷹		公表日 2026年 5 月 25 日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0		
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	玄関先スロープの設置、滑り止めマットの設置、トイレ内スロープの設置を行っている。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	限られたスペースであるため、間仕切り等を使用し、スムーズな活動ができるよう取り組んでいる。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0		
6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	毎日の支援ミーティングにて、前日の振り返りと当日支援の目標設定を全職員で行っている。	
7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	アンケートを基に、可能な限り改善に努めている。	
8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	定期的に職員面談を実施し、意見を把握する場を設けて、業務改善につなげている。	
9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		第三者評価は実施していないが、今後検討していきたい。
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	定期的な内部研修の他、外部研修参加も行っている。	
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	ホームページにて公開している。	
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	保護者面談やモニタリングを基に、個別支援計画を作成している。	
13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	計画作成会議を実施し、指導員の意見を踏まえた計画作成となるよう努めている。	情報共有はできているが、発信をする職員が固定化しがちである。
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0		
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	法人独自の支援プログラムを評価指標とし、日々の様子の変化等については別途記載様式を使用している。	
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	保護者との面談とアセスメントをもとに、一人ひとりの状況や課題に応じた計画作成を行っています。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	ミーティング等を通し、チーム全体の意見を踏まえたプログラムが提供できるよう努めている。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	児童が楽しみながら取り組めるプログラムが提供できよう、新しい活動を毎月取り入れるよう努めている。	

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	個別、集団活動プログラムを併せて取り組み、計画に反映させている。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	各職員の役割を時間やプログラムごとに設け、支援ミーティングで共有した上で支援に取り組んでいる。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	支援終了時に支援に関する振り返りを行う、勤務外職員への伝達は送り帳を活用し、共有している。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		支援ミーティング時の情報共有を更に深め、支援に迅速に反映できるよう取り組んでいきたい。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	モニタリング及び支援ミーティングを基に評価、再評価を行っている。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	放課後等デイサービスガイドラインに基き、各支援内容を踏まえた計画を立案し、実践している。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0		
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	管理者、児童発達支援管理責任者が参画している。	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	子ども家庭支援センター、訪問看護施設事業所等との連携を取り、情報共有し支援に繋げている。	全職員が関係機関との連携の大切さへの理解が深められるよう指導を行っていきたい。
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	特別支援学校連絡会への参画を基に、子ども家庭支援センター、相談支援事業所との連携を図っている。	
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0		
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2		移行時の情報提供の準備はあるが、保護者等からの要望がないため、実践には至っていない。
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1	研修開催がある場合は、職員へ共有し、参加を促している。	
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	0		定期的に児童館にて課外活動を実施しているが、計画的な交流には至っていない。
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1		
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時や電話連絡等にて、常に新しい情報が共有できるよう努めている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	ペアレントトレーニングに基づいた相談援助を実施している。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約面談時にて詳細に説明を行っている。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	保護者面談や児童との対話を通して、希望や困りごとなどを確認するよう努めている。	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	定期面談時及び書面にて説明と同意を得ている。	
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	定期面談以外にも、必要に応じて面談、電話相談を行っている。	

40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	0		保護者同士の交流の場となるような保護者会の場を設けていき、きょうだいの参加ができる行事開催も、今後検討していきたい。
41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	迅速且つきめ細やかな対応に努めている。	
42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	毎月、事業所通信を発行している。またホームページやSNSにて情報を発信している。	
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	ホワイトボード、絵カードを用いて、スムーズに伝達できるよう配慮している。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0		
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	各種マニュアルの策定と研修・訓練を行っている。契約面談時に説明を行い、いつでも確認いただけるよう、資料を設置している。	
47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	BCPを策定し、定期的な研修と訓練を実施している。	
48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	契約時アセスメントにて確認し、その後も随時情報をいただけるよう努めている。	
49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	契約時アセスメントにて確認し、その後も随時情報をいただくよう取り組んでいる。	
50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画に基づき、研修や訓練を実施した上で、支援を行っている。	
51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	安全計画を策定し、定期的に研修と訓練を実施している。	
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハット事例作成後は、法人内で共有し、改善に取り組んでいる。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	外部研修への参加および内部研修を実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	身体拘束適正化委員会にて内容を協議後、個別支援計画書へ記載している。	